

2020年10月1日

十八親和銀行

合併の完了と新銀行の概要・目指す姿に関するお知らせ

本日、当社の子会社である株式会社十八親和銀行（取締役会長 吉澤 俊介、取締役頭取 森 拓二郎）は、別添のとおり「合併の完了と新銀行の概要・目指す姿に関するお知らせ」を公表しましたのでお知らせいたします。

以 上

2020年10月1日

合併の完了と新銀行の概要・目指す姿に関するお知らせ

株式会社親和銀行と株式会社十八銀行は、本日合併し、新たに株式会社十八親和銀行（取締役会長 吉澤 俊介、取締役頭取 森 拓二郎）としてスタートいたしました。

新銀行の発足にあたり、十八親和銀行の概要と目指す姿についてお知らせいたします。

記

1. 十八親和銀行の強み

親和銀行と十八銀行の両行は、設立から140年以上の歴史を歩み、長崎県全域にネットワークを拡げ、お客さまとの間に強固な信頼関係を築いてまいりました。当行の強みは「県北に強い親和銀行と県南に強い十八銀行が一緒となり、県全体を俯瞰できる銀行が誕生したこと」「両行が個別に保有していた地域の圧倒的な情報を活用し、FFGの総合力を駆使して地域企業の成長を支援できること」「県内隅々まで行き渡った稠密なネットワークを活用し、FFGが持つ高付加価値な商品・サービスを持続的に提供できること」になります。

この、三つの強みを活かして、長崎県経済の発展に貢献してまいります。

2. 目指す姿

当行は、以下の3点を設立の理念として掲げ、長崎県経済の発展に貢献する「顧客満足度NO.1銀行」を目指します。

I. 地域経済活性化と企業価値向上の同時実現

当行が培ってきた地域との絆をもとに、FFGの総合力を活用し、長崎県全体を俯瞰して地域の未来を共創していきます。また、これを実現し、SDGsに取り組むことで、当行・FFGの企業価値を向上させてまいります。

II. 長崎県内企業の成長への貢献

長崎県の産業特性等、当行が持つ県内の圧倒的な情報力を活かしながら、当行のソリューションとFFGの総合力を駆使して、人口減少にも耐え得る強固な地域企業の成長を支援してまいります。

III. 顧客満足度NO.1銀行

当行は高品質の商品・サービスを積極的に提供し、お客さまのあらゆるライフスタイルに応えてまいります。また、地域企業の成長のために事業性評価を継続して実施することでお取引先からの絶対的な支持を得て、「顧客満足度NO.1銀行」を目指してまいります。

3. 合併後の主な取組み

地域との 未来共創 に向けた取組み

- ✓ 長崎県内の各地域における観光関連プロジェクトへの支援
- ✓ アントレプレナーシップ醸成による起業家育成支援
- ✓ 電子地域通貨事業の展開を通じた地域課題の解決支援
- ✓ 離島振興支援
- ✓ 地域への当行人財供給および雇用創出サポート

個人のお客さまの 豊かなライフプラン の実現サポート

- ✓ ライフステージに合わせたローン商品のご提供や資産運用・保険活用、相続のサポートの強化
- ✓ セミナー開催や金融教育の展開
- ✓ 先進的決済サービスの提供

地元企業 へのサポート

- ✓ 事業性評価を通じて、今後の経営方針を共有し、地元企業の成長や経営改善・事業再生等を積極的にサポート
- ✓ グループ内外のノウハウを活用した事業承継・M&A等による企業の経営体力強化サポート
- ✓ 新規事業や1次産業支援への取組み

社会インフラ へのサポート

- ✓ 定住人口・流入人口の増加に資するまちづくり事業への積極的な参画
- ✓ 医療・介護体制の整備に向けたサポート
- ✓ 交通インフラの維持・強化に向けたサポート

4. 十八親和銀行の概要

資本金	368億円
本店所在地	長崎県長崎市銅座町1番11号
会頭 長取	吉澤 俊介 森 拓二郎
総資産（単体）	5兆8,453億円
預金残高（単体）	5兆158億円
貸出金残高（単体）	3兆8,513億円
従業員数（単体）	2,419人
拠点数	182拠点（ネット専用支店を除く）

※総資産・預金残高・貸出金残高・従業員数は2020年3月末単純合算

以上

《 本件に関するお問合せ先 》

(株)十八親和銀行 総合企画部 担当：浦

TEL 095 - 828 - 8107